

1 響のケア 「響き合う」というコミュニケーション
「会話」と「笑い」があふれるデイルームです。

私たちが何より大切にしているものが、ご利用者様とのコミュニケーションです。お互いにしっかりと向き合い、ご利用者様の生活歴や障害などその方の「思い」や「こだわり」を理解することを心がけています。介助する側、される側といった一方的な関係だけではない、互いに共感し、響き合うコミュニケーションが、和と輪を生み出します。そんな響のデイルームには、笑顔があふれています。

もの送りゲームで盛り上がります。



デイサービス
響へ
ようこそ

2 響のケア 「やる気」と「動き」を引き出す介助
抱えない、引き上げない介助を徹底しています。

ご利用者様の中には、脳卒中などにより片マヒとなった方や、高齢で足腰が思うように動かなくなった方もおられます。こうした方々の「立つ」「移動する」「座る」といった動作に対して、私たちは「抱えない」「引き上げない」介助を実践しています。その際重要となるのが「立つ」「座る」際の生理学的な動きを引き出すこと。生活の中の身体の動きを考えた介助は、ご利用者様の「自分で立つ」「自分で座る」といった意欲と機能も引き出すのです。

3種類の高さが設定されているイスとテーブル。



3 響のケア 高さが違うイスとテーブル
正しい姿勢をつくるのが、介護の出発点です。

高さが違うイスとテーブル。この設備へのこだわりが響のケアの特質でもあります。座面までの高さは、38cm、40cm、42cmの3種類。それに合わせてテーブルも3種類の高さが用意されています。ご利用者様は、膝下の長さにあわせてイスを選んでいただくことができます。なぜ、そこまで高さにこだわるのでしょうか。理由は、座ったときの姿勢にあります。座った際の膝の角度が90度となること。食事の際に前傾姿勢となるように配慮しています。正しい姿勢をつくることから響のケアが始まります。



個浴と大浴槽の2つの檜風呂があります。



4 響のケア 檜の香りが心身を癒してくれるお風呂
マヒのある方でもゆったり、のんびりと

檜のいい香りが、入る方の心身を癒してくれる響のお風呂。響では、ゆっくりとお風呂を楽しんでいただけるよう、お一人ずつ入浴にご案内しています。また、ご利用者様の思いに配慮し、できる限り同性による入浴介助を行っています。もう一つの大きな特徴が、マヒのある方も「普通の浴槽」で入浴が可能だということです。機械に頼らない入浴は、ご利用者様の残っている身体機能を引き出すリハビリにつながります。

5 響のケア ともに笑い、楽しむ
ゲームもレクもランチも
ご利用者様と一緒に一喜一憂。

響のケアの大きな特長といえるのが、ご利用者様と一緒に楽しむというスタンスです。ランチタイムでは、職員もご利用者様のテーブルに座り、一緒に同じランチを食べます。トランプなどのカードゲーム、あるいは将棋や五目並べ、また編み物や読書といったレクリエーションも同じです。職員もその輪の中に入り楽しめます。ともに笑い、楽しみ、悩むことが、響のケアの基本です。



6 響のケア アイデア機能訓練体操
無理なく楽しく参加できます。

デイサービス響の機能訓練体操は、生活リハビリ式の体操をベースに、スタッフ1人ひとりが工夫と改良を重ねてきたもの。無理なく、楽しく、適度に身体を動かすことができるアイデア機能訓練体操です。

デイサービス響の1日

9:45 サービス開始 看護師がバイタル確認	13:00 午後のひと時
10:30 朝の体操・頭の体操	14:00 機能訓練体操
11:00 コーヒータイム	14:30 運動系レク
12:00 昼食 職員も一緒にランチタイム	15:00 おやつ
	15:30 懐かしの歌の時間
	16:15 サービス終了

